

コラム原稿お願い

- ◆ 内容はそれぞれの専門分野の医療に関することでの自由。
- ◆ 季節によって注意すべきこと
- ◆ 予防
- ◆ 応急処置の方法
- ◆ 症状への知識
- ◆ こんな時はどうする? などなど、4000字以内にまとめてください。



原稿をお送りいただきますと、その内容とともに、病院名、院長先生のお名前、電話番号、専門科名、顔写真を掲載させていただきます。原稿は、E-Mail で送信大歓迎です。

わが街のホームドクター

こんなときどうする No. xx

写真

中高年のドライアイとコンタクトレンズ

年齢が高くなるにつれ、涙液が減少し、そのため眼内の粘着度が高くなり異物感、まぶしさを訴えることが多い。軽度のドライアイの方のコンタクトレンズは、ハードCL、またはW使い捨てCL、ワンデイ使い捨てCLが、適当である。角膜は、涙液により酸素を取り入れるが、ドライアイの方は、涙液が少なく、酸素の取り入れが少ないうえ、CLが汚れやすく乾燥しやすいので連続装着CL、通常のソフトCLは、不適当である。酸素透過

率は高すぎるハードCLも汚れやすい為、ほどほど酸素を通すタイプが、いいと思います。

- ・人工涙液を頻回に点眼する
- ・瞬目を深く多めに
- ・レンズケアをしつかり行う
- ・CLと眼鏡を上手に使い分ける

ドライアイの方は、角膜障害の発生率が、高いので、お近くの眼科医に御相談ください。

写真

暑くなるとふえる子供のとびひと太陽光線にご注意

夏は子供の皮フは汗や皮脂の分泌が盛になり肌汚れや細菌がつきやすくなるためうつる皮フ病がふえてきます。特に目立つのが「とびひ」です。とびひは皮フの細菌感染である黄色ブドウ球菌によります。水疱を作る型と水疱作らず「かさぶた」になる型があります。幼児の顔特に鼻孔周囲に小さい水疱やジクジクした「びらん性凍瘡をど腫く」部に拡がって水疱を生じ悪化します。適切な治療をすれば早く乾いて治りますので、早目に皮フ科医の診療を受けて下さい。日常の予防として

ふえてきます。特に目立つのが「とびひ」です。とびひは皮フの細菌感染である黄色ブドウ球菌によります。水疱を作る型と水疱作らず「かさぶた」になる型があります。幼児の顔特に鼻孔周囲に小さい水疱やジクジクした「びらん性凍瘡をど腫く」部に拡がって水疱を生じ悪化します。適切な治療をすれば早く乾いて治りますので、早目に皮フ科医の診療を受けて下さい。日常の予防として

しては皮フを石けんでよく洗い汗や汚れを落して清潔にすることです。次に日光と皮フの関係です。太陽の紫外線でUVBは生物の細胞のDNAを傷つけます皮フの老化、水晶体細胞の損傷による白内障、皮フ癌などを起します。晴天の正午前後の時間は日光をさけて下さい。海水浴に行く時は皮フのやき過ぎはしない様心がけて下さい。そして楽しい夏をお過ごし下さい。

ここの広告
 青葉区版 (21000円)
 都筑区版 (14700円)

マーク

医院

診療内容

診療時間 平日: 9:00~12:00 15:00~19:00
 土曜日: 9:00~12:00 14:30~17:00
 日曜日: 9:00~12:00 10台
 ◇休診日 水曜日 祝日

TEL 045-111-9999

◆〇区△△町111-33 【〇〇団地バス停前/G S右入る】

地図

にんげん工房 にんげん情報誌 プログ
 あおばかわら版
 aoba@ninkenkobo.com
 横浜市青葉区すすぎ野3-2-1 藤パークビル2F http://www.ninkenkobo.com
 〒225-0021 TEL 045-901-1560 FAX 045-903-9026